

中級ミクロ経済学Ⅱ（再履修） 第4回授業内課題

問題作成者：北村 友宏

2018年6月25日

学籍番号：_____ 氏名：_____

※解法が分からなければ、空白のまま提出しようとせず、担当教員に質問してください。

1. 生産要素を2種類用いて財を1種類生産する企業を考える。生産関数は

$$f(x_1, x_2) = \sqrt{3x_1 + 2x_2} + 3\sqrt{x_2}$$

である。また、要素2の価格は4である。この企業が財を5単位生産するときの生産要素の最適投入量は、要素2の投入量が0の端点解であるという。このとき、以下の問いに答えなさい。

(a) 費用最小化問題を書きなさい。

(b) 要素1と要素2の限界生産物 MP_1 と MP_2 を求めなさい。

(c) 等量曲線の式（費用最小化問題の制約条件式）に $x_2 = 0$ を代入することにより、最適な要素1の投入量を求めなさい。

(d) 技術的代替率の絶対値 $|TRS|$ と要素価格比の関係を、等号を含む（弱い意味の）不等式で表しなさい。そして、その不等式に、(b) で求めた要素 1 と要素 2 の限界生産物、問題に与えられている要素 2 の価格 ($w_2 = 4$) と最適な要素 2 の投入量 ($x_2 = 0$)、(c) で求めた最適な要素 1 の投入量をそれぞれ代入して不等式を要素 1 の価格 w_1 について解くことにより、 $x_2 = 0$ の端点解となる w_1 の範囲を求めなさい。

(e) 要素 1 の価格が 2 のとき、財を 5 単位生産する場合の費用の最小値を求めなさい。

授業内課題解答

解答作成者：北村 友宏

※答案には重要な計算過程を示していればよい。ここまで詳しく説明する必要はない。

1. (a) 費用最小化問題は、

$$\begin{aligned} & \min_{x_1, x_2} w_1 x_1 + 4x_2, \\ \text{s.t. } & \underbrace{\sqrt{3x_1 + 2x_2} + 3\sqrt{x_2}}_{=f(x_1, x_2)} = 5. \end{aligned}$$

(b) $t = t(x_1, x_2) = 3x_1 + 2x_2$ とすると、

$$f(x_1, x_2) = \sqrt{t(x_1, x_2)} + 3\sqrt{x_2}.$$

よって、要素 1 の限界生産物は、

$$MP_1 = \frac{\partial f(x_1, x_2)}{\partial x_1} = \frac{df(x_1, x_2)}{dt} \frac{\partial t(x_1, x_2)}{\partial x_1} = \frac{1}{2} t^{-\frac{1}{2}} \cdot 3 = \frac{3}{2} (3x_1 + 2x_2)^{-\frac{1}{2}}.$$

要素 2 の限界生産物は、

$$MP_2 = \frac{\partial f(x_1, x_2)}{\partial x_2} = \frac{1}{2} t^{-\frac{1}{2}} \cdot \frac{\partial t(x_1, x_2)}{\partial x_2} + 3 \cdot \frac{1}{2} x_2^{-\frac{1}{2}} = \frac{1}{2} (3x_1 + 2x_2)^{-\frac{1}{2}} \cdot 2 + \frac{3}{2} x_2^{-\frac{1}{2}} = (3x_1 + 2x_2)^{-\frac{1}{2}} + \frac{3}{2} x_2^{-\frac{1}{2}}.$$

(c) 等量曲線の式に $x_2 = 0$ を代入

$$\begin{aligned} \sqrt{3x_1 + 2 \cdot 0} + 3\sqrt{0} = 5 & \Leftrightarrow \sqrt{3x_1} = 5 \\ & \Leftrightarrow 3x_1 = 25 && \text{両辺 2 乗} \\ & \Leftrightarrow x_1 = \frac{25}{3} && \text{両辺 } \div 3 \end{aligned}$$

よって、最適な要素 1 の投入量は $\frac{25}{3}$.

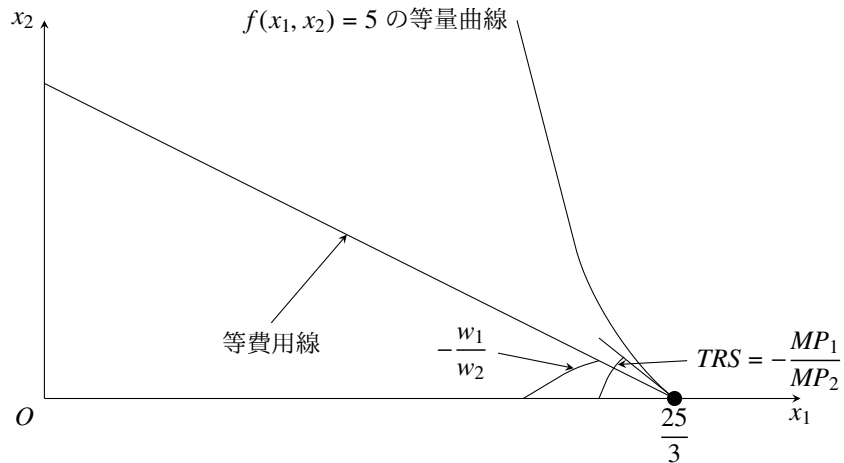
(d) $x_2 = 0$ の端点解となる条件は,

$$\begin{aligned}
 |TRS| \geq \frac{w_1}{w_2} &\Leftrightarrow \left| \underbrace{-\frac{MP_1}{MP_2}}_{\text{技術的代替率 TRS}} \right| \geq \underbrace{\frac{w_1}{w_2}}_{\text{要素価格比}} \\
 &\Leftrightarrow \left| -\frac{\frac{3}{2}(3x_1 + 2x_2)^{-\frac{1}{2}}}{(3x_1 + 2x_2)^{-\frac{1}{2}} + \frac{3}{2}x_2^{-\frac{1}{2}}} \right| \geq \frac{w_1}{4} \\
 &\Leftrightarrow \frac{\frac{3}{2}\left(3 \cdot \frac{25}{3} + 2 \cdot 0\right)^{-\frac{1}{2}}}{\left(3 \cdot \frac{25}{3} + 2 \cdot 0\right)^{-\frac{1}{2}} + \frac{3}{2} \cdot 0^{-\frac{1}{2}}} \geq \frac{w_1}{4} \quad \text{絶対値を外し, } x_1 = \frac{25}{3}, x_2 = 0 \text{ を代入} \\
 &\Leftrightarrow \frac{\frac{3}{2} \cdot 25^{-\frac{1}{2}}}{25^{-\frac{1}{2}}} \geq \frac{w_1}{4} \\
 &\Leftrightarrow \frac{3}{2} \geq \frac{w_1}{4} \quad \text{左辺の分母と分子} \times 25^{\frac{1}{2}} \\
 &\Leftrightarrow 4 \cdot \frac{3}{2} \geq 4 \cdot \frac{w_1}{4} \\
 &\Leftrightarrow 2 \cdot 3 \geq w_1 \\
 &\Leftrightarrow w_1 \leq 6.
 \end{aligned}$$

よって, w_1 の範囲は,

$$w_1 \leq 6.$$

- $w_1 > 0$ なので, $0 < w_1 \leq 6$ としてもよい.
- 図で表すと, 以下のようなになる.



(e) 要素 1 と要素 2 の価格と最適投入量を費用の定義に代入すると,

$$2 \cdot \frac{25}{3} + 4 \cdot 0 = \frac{50}{3}.$$

よって, 費用の最小値は $\frac{50}{3}$.